

科目名	Communication Practice I (前期 30 時間(90 分/コマ)) (必修)・選択
担当教官	佐藤麻希 (実務経験：名港海運(株)にて 2 年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて 2 年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	Communication Practice I は、ヒット曲を聴きながら英語特有の音声変化やリズムに慣れ親しみ、英語の基礎力をバランスよく向上させることを目的とします。総合的な英語力を伸ばすため、文法問題、読解問題、聞き取り問題にも取り組みます。スマートフォンを使ったモバイルラーニングを活用し授業の復習を促進します。この講義で学んだ英語力をもとにコミュニケーション力・会話力を身につけることを目標とします。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	1. Unit1 be 動詞、疑問詞を使った疑問文 2. Unit2 一般動詞 (現在形) 3. Unit3 一般動詞 (過去形)、否定文、疑問文 4. Unit4 進行形 (現在形、過去形) 5. Unit5 未来表現 (will, be going to の違い) 6. Unit6 助動詞、活用、否定文 7. Unit7 受動態の用法、不規則変化をする動詞 8. Unit8 現在完了形、否定文、副詞の活用 9. Unit9 比較 (比較級、最上級) 10. Unit10 分詞の用法 (現在分詞、過去分詞) (限定用法、叙述用法) 11. Unit11 不定詞の用法 (名詞的、副詞的、形容詞的)、慣用表現 12. Unit12 関係詞の違い (関係代名詞) 13. Unit13 接続詞・前置詞の活用、働きの違い 14. Unit14 動名詞の用法、慣用表現 15. まとめ (語彙と文法の小テスト)
使用テキスト ・教材等	Pop Hits! Taking Sides
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること

科目名	Communication Practice I (後期 30 時間(90 分/コマ)) (必修)・選択
担当教官	佐藤麻希 (実務経験：名港海運(株)にて 2 年間、輸入営業事務業務に携わる。(株)アオイコーポレーションにて 2 年間、海外ロケコーディネーター業務に携わる)
学科・学年	英語科 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	Communication Practice I の後期は、前期で身につけた英語の基礎力を活用し、自分の意思を明確に表明できるようになることを目指します。そのために、視野を広げ、日本の社会を取り巻く様々な話題について書かれている記事について自分の考えをまとめて整理し、その整理した意見を英語でできるだけ明確に相手に伝えられるようになるための情報発信力を養うことを目標とします。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit1 学生服は必要かについて。語彙と表現を学ぶ、意見を考え発表する 2. Unit2 入試は必要かについて。語彙と表現を学ぶ、意見を考え発表する 3. Unit3 飛び級の導入について。語彙と表現を学ぶ、意見を考え発表する 4. Unit4 福袋が必要か否かについて。語彙と表現を学ぶ、意見を考え発表する 5. Unit5 レジ袋の有料化について。語彙と表現を学ぶ、意見を考え発表する 6. Unit6 「隠れたお代」が許せるか否かについて。語彙と表現を学ぶ、意見を考え発表する 7. Unit7 最低賃金を上げるべきか否かについて。語彙と表現を学ぶ、意見を考え発表する 8. Unit8 消費税を上げるべきか否かについて。語彙と表現を学ぶ、意見を考え発表する 9. Unit9 クレジットカードを使うべきか否かについて。語彙と表現を学ぶ、意見を考え発表する 10. Unit10 食品表示の厳格化について。語彙と表現を学ぶ、意見を考え発表する 11. Unit11 食料自給率を上げるべきか否かについて。語彙と表現を学ぶ、意見を考え発表する 12. Unit14 死刑は廃止すべきか否かについて。語彙と表現を学ぶ、意見を考え発表する 13. Unit16 ネットの違法ダウンロードについて。語彙と表現を学ぶ、意見を考え発表する 14. Unit14 第 1 講から第 13 講の中から一つテーマを選び、より深い意見を考え発表する 15. まとめ (語彙と文章小テスト)
使用テキスト ・教材等	Pop Hits! Taking Sides
成績評価方法 及び 基準	期末試験において 100 点満点で採点し 60 点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	授業後の復習及び日頃からの英語学習を積極的に行うこと
履修に 当たっての 留意点	積極的に発言すること。欠席した場合は履修内容を自主学習すること

科目名	Hospitality Service English I (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・選択
担当教官	村田愛美 (実務経験：オーストラリアの商社にて3年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	英語科1年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	日本特有の文化と技術を題材にして、様々な英語表現を学びます。シャドーイング練習やクラスメイトとの会話練習を行い、習得状況を確認するための小テストを定期的に行います。 会話表現に重点を置き、英語での意思疎通が問題なく行えるようになることを目的とします。英語で話し合うことを通して、ディスカッション、スピーキング力向上を目指します。(講義)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Long-Established Businesses -Report 2. Long-Established Businesses -Studio Discussion 3. Uniforms -Report 4. Uniforms -Studio Discussion 5. Volunteer Work -Report 6. Volunteer Work -Studio Discussion 7. High-Tech Living(Automobiles) -Report 8. High-Tech Living(Automobiles) -Studio Discussion 9. Discussion 10. Japanese Tableware -Report 11. Japanese Tableware -Studio Discussion 12. Homemakers of Japan -Report 13. Homemakers of Japan -Studio Discussion 14. Seafood -Report 15. Review
使用テキスト ・教材等	Discovering Cool Japan
成績評価方法 及び 基準	期末試験において100点満点で採点し60点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の英検級の合格、及び TOEIC スコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかり暗記すること

科目名	Hospitality Service English I (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・選択
担当教官	村田愛美 (実務経験：オーストラリアの商社にて3年間、貿易業務に携わる)
学科・学年	英語科1年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	日本特有の文化と技術を題材にして、様々な英語表現を学びます。シャドーイング練習やクラスメイトとの会話練習を行い、習得状況を確認するための小テストを定期的に行います。 会話表現に重点を置き、英語での意思疎通が問題なく行えるようになることを目的とします。英語で話し合うことを通して、ディスカッション、スピーキング力向上を目指します。(講義)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Seafood -Studio Discussion 2. Voice Actors -Report 3. Voice Actors -Studio Discussion 4. Japanized Foreign Dishes -Report 5. Japanized Foreign Dishes -Studio Discussion 6. Bags -Report 7. Bags -Studio Discussion 8. Discussion 9. Senior Citizens(Medical Checkups) -Report 10. Senior Citizens(Medical Checkups) -Studio Discussion 11. Money -Report 12. Money -Studio Discussion 13. Monkeys -Report 14. Monkeys -Studio Discussion 15. Review
使用テキスト ・教材等	Discovering Cool Japan
成績評価方法 及び 基準	期末試験において100点満点で採点し60点以上を合格とする
授業時間外 に必要な 学修内容	常に目標の英検級の合格、及び TOEIC スコア達成を意識し、英語ニュースなどに触れる時間を多く持つこと
履修に 当たっての 留意点	その日の授業テーマ・概要を予習しておくこと。また、新しく学んだ文法・単語をしっかり暗記すること

科目名	Grammar Clinic I ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) (必修)・選択
担当教官	葛谷 明美 (実務経験 : (株) 藤田トラベル、(株) ジェットツアーにて計 5 年間、海外旅行手配業務に携わる。)
学科・学年	英語科 (留学コース) 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	多くの学生が苦手意識をもつ傾向にある「語彙」や「文法」は英文解釈や英作文はもちろんのこと、英会話にも必要不可欠であることを前提として、これまで学んだ英語の基礎を徹底的に再確認し、さらなる英語力の向上に結びつけることを目的としている。授業では、基本的な文法項目の解説、練習問題、解答の解説、復習を繰り返すことにより、各項目をより確実に理解できるよう進め、学生が苦手意識を克服し、留学先など実践的な場面で生かせる英語力を習得することを目指す。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、Unit1 並び方のルール : 英語の構造と語順① 2. Unit 2 語句や節のつながり : 英語の構造と語順② 3. Unit 3 be 動詞と一般動詞 : SVC / SVO / SV 4. Unit 4 一般動詞の使い方 : SVOO / SVOC 5. Review Unit 1-Unit 4 6. Unit 5 「～される」を表す表現 : 態 ① 7. Unit 5 「～される」を表す表現 ② 8. Unit 6 英語の時間感覚① : 現在形、現在進行形、過去形、未来表現 9. Unit 7 英語の時間感覚② : 現在完了形 10. Review Unit 5-Unit 7 11. Unit 8 否定 : 様々な否定表現 12. Unit 9 前置詞 : 基本的な前置詞のイメージ 13. Unit 10 動詞の意味を補助する語 : 助動詞① 14. Unit 11 動詞の意味を補助する語 : 助動詞② 15. Review Unit 8-Unit 11
使用テキスト ・教材等	Make a Fresh Start with English (朝日出版社)
成績評価方法 及び 基準	宿題及び復習テスト 20%、平常点 (授業参加度) 20%、定期試験 60% で評価し 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	次回の授業内容を予習し、各 Unit のテーマと概要を把握して授業に臨むこと、また、各 Unit 終了後に復習テストを実施するので、授業の内容を復習しておくこと。
履修に 当たっての 留意点	毎回テキストと辞書を必ず持参すること。授業に積極的に参加すること。

科目名	Grammar Clinic I ② (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	葛谷 明美 (実務経験: (株) 藤田トラベル、(株) ジェットツアーにて計 5 年間、海外旅行手配業務に携わる。)
学科・学年	英語科 (留学コース) 1 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	多くの学生が苦手意識をもつ傾向にある「語彙」や「文法」は英文解釈や英作文はもちろんのこと、英会話にも必要不可欠であることを前提として、これまで学んだ英語の基礎を徹底的に再確認し、さらなる英語力の向上に結びつけることを目的としている。授業では、基本的な文法項目の解説、練習問題、解答の解説、復習を繰り返すことにより、各項目をより確実に理解できるよう進め、学生が苦手意識を克服し、留学先など実践的な場面で生かせる英語力を習得することを目指す。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit 1 2 名詞と冠詞 2. Unit 1 3 名詞の働きをする語句①: 動名詞 ① 3. Unit 1 3 名詞の働きをする語句①: 動名詞 ② 4. Unit 1 4 名詞の働きをする語句②: 不定詞の名詞的用法 5. Review Unit 12-Unit 14 6. Unit 1 5 使役動詞と知覚動詞 7. Unit 1 6 形容詞の働きをする語句と節①: 不定詞の形容詞的用法 8. Unit 1 7 形容詞の働きをする語句と節②: 現在分詞と過去分詞 9. Review Unit 15-Unit 17 10. Unit 1 8 形容詞の働きをする語句と節③: 関係代名詞 11. Unit 1 9 形容詞の働きをする語句と節④: 関係副詞 12. Unit 2 0 副詞の働きをする語句: 不定詞の副詞的用法 13. Review Unit 18-Unit 20 14. Unit 2 1 比較①: 原級と比較級 Unit 2 2 比較②: 最上級と慣用表現 15. Unit 2 3 仮定法、まとめ
使用テキスト ・教材等	Make a Fresh Start with English (朝日出版社)
成績評価方法 及び 基準	宿題及び復習テスト 20%、平常点 (授業参加度) 20%、定期試験 60% で評価し 60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	次回の授業内容を予習し、各 Unit のテーマと概要を把握して授業に臨むこと、また、各 Unit 終了後に復習テストを実施するので、授業の内容を復習しておくこと。
履修に 当たっての 留意点	毎回テキストと辞書を必ず持参すること。授業に積極的に参加すること。

科目名	オールラウンドイングリッシュ (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・選択
担当教官	大八木香織 (実務経験：名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。)
学科・学年	英語科 2年 ③
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	日本人が当たり前とってきた日本の文化や技術が外国の人たちにはかっこいいものとして受け入れられている 13 のテーマについて、日本の魅力と秘密を探ります。世界各国の多様な文化背景を持つスピーカーの考えに触れ、日本文化を再確認し、自ら発信することを目標に様々なタスクに挑戦します。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション (授業の進め方、テキストについて) 2. Unit 1 Long-Established Businesses (老舗) 3. Unit 1 Discussion & Presentation 4. Unit 2 Uniform (制服) 5. Unit 2 Discussion & Presentation 6. Unit 3 Volunteer Work (ボランティア) 7. Unit 3 Discussion & Presentation 8. Unit 4 High-Tech Living(automobiles) (ハイテク生活 自動車運転) 9. Unit 4 Discussion & Presentation 10. Unit 5 Japanese Tableware (和食器) 11. Unit 5 Discussion & Presentation 12. Unit 6 Homemakers of Japan (主婦) 13. Unit 6 Discussion & Presentation 14. まとめ 15. 前期末テスト
使用テキスト ・教材等	Discovering Cool Japan
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容・定期テストなどを総合評価、100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には、本文の内容を読んで、わからない単語は調べてくる。 授業後には復習を必ず行う。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。授業中は積極的に発言するようにする。

科目名	オールラウンドイングリッシュ (後期 30 時間 (90 分/コマ)) (必修)・選択
担当教官	大八木香織 (実務経験：名古屋国際サービス株式会社にて 3 年間国際線旅客ハンドリング業務に携わる。)
学科・学年	英語科 2 年 ③
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	日本人が当たり前とってきた日本の文化や技術が外国の人たちにはかっこいいものとして受け入れられている 13 のテーマについて、日本の魅力と秘密を探ります。世界各国の多様な文化背景を持つスピーカーの考えに触れ、日本文化を再確認し、自ら発信することを目標に様々なタスクに挑戦します。(講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unit 7 Seafood (海の幸) 2. Unit 7 Discussion & Presentation 3. Unit 8 Voice Actors (声優) 4. Unit 8 Discussion & Presentation 5. Unit 9 Japanized Foreign Dishes (和製料理) 6. Unit 9 Discussion & Presentation 7. Unit 10 Bags (かばん) 8. Unit 10 Discussion & Presentation 9. Unit 11 Senior Citizens (シニア) 10. Unit 11 Discussion & Presentation 11. Unit 12 Money (お金) 12. Unit 12 Discussion & Presentation 13. Unit 13 Monkeys (猿) 14. Unit 13 Discussion & Presentation 15. 後期末テスト
使用テキスト ・教材等	Discovering Cool Japan
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容・定期テストなどを総合評価、100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	授業前には、本文の内容を読んで、わからない単語は調べてくる。 授業後には復習を必ず行う。
履修に 当たっての 留意点	授業には必ず辞書を持参。授業中は積極的に発言するようにする。

科目名	TOEIC ストラテジー ② (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・選択
担当教官	山田美絵 (実務経験: 英語塾経営 26 年間)
学科・学年	英語科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	TOEIC 各パートについての出題形式、傾向を解説、演習を繰り返し行い、TOEIC600 点以上取得を目指す。 また、海外留学を視野に入れ、IELTS 対策を行う。 (演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. TOEIC 語彙演習、IELTS 選択肢問題 2. TOEIC 語彙演習、IELTS 短文解答問題 3. TOEIC 文法問題、IELTS 練習問題 1 4. TOEIC 語彙演習、IELTS 英文完成問題 5. TOEIC 語彙演習、IELTS 表完成問題 6. TOEIC 文法問題、IELTS 練習問題 2 7. TOEIC 語彙演習、IELTS 見出し選択問題 8. TOEIC 語彙演習、IELTS 正誤問題 9. TOEIC 文法問題、IELTS 練習問題 3 10. TOEIC 語彙演習、IELTS 英文完成問題 11. TOEIC 語彙演習、IELTS 練習問題 4 12. TOEIC 文法問題、IELTS リーディング実践テスト 1 13. TOEIC 語彙演習、IELTS リーディング実践テスト 2 14. TOEIC 語彙演習、IELTS リーディング復習 15. TOEIC 文法問題、IELTS リーディング復習
使用テキスト ・教材等	The TOEIC® TEST Vocabulary and Grammar Power- Up Exercises IELTS®: Subjects and Strategies
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容、Mini Test、期末テストを総合評価、100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	TOEIC® 目標スコア達成のために必要な語彙学習を家庭で必ず行うこと。
履修に 当たっての 留意点	積極的な発言をすることにより、実社会でのコミュニケーション能力をつけることを意識すること。

科目名	TOEIC ストラテジー ② (後期 30 時間 (90 分/コマ))	必修・選択
担当教官	山田美絵 (実務経験: 英語塾経営 26 年間)	
学科・学年	英語科 2年	
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>TOEIC 各パートについての出題形式、傾向を解説、演習を繰り返し行い、TOEIC500 点以上取得を目指す。</p> <p>また、海外留学を視野に入れ、IELTS 対策を行う。 (演習)</p>	
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. TOEIC 語彙演習、IELTS ライティング (グラフの説明) 2. TOEIC 語彙演習、IELTS ライティング練習問題 1 3. TOEIC 文法問題、IELTS ライティング (プロセスの説明) 4. TOEIC 語彙演習、IELTS ライティング練習問題 2 5. TOEIC 語彙演習、IELTS ライティング (賛成・反対のエッセイ) 6. TOEIC 文法問題、IELTS ライティング練習問題 3 7. TOEIC 語彙演習、IELTS ライティング (What で問うエッセイ) 8. TOEIC 語彙演習、IELTS ライティング練習問題 4 9. TOEIC 文法問題、IELTS リスニング選択問題 10. TOEIC 語彙演習、IELTS リスニング練習問題 1 11. TOEIC 語彙演習、IELTS リスニング練習問題 2 12. TOEIC 文法問題、IELTS リスニング英文完成問題 13. TOEIC 語彙演習、IELTS リスニング練習問題 3 14. TOEIC 語彙演習、IELTS リスニング練習問題 4 15. TOEIC 文法問題、IELTS リスニング復習 	
使用テキスト ・教材等	BEST PRACTICE FOR THE TOEIC® LISTENING AND READING TEST	
成績評価方法 及び 基準	授業参加内容、筆記・Mini Test を総合評価、100 点満点で採点し、60 点以上を合格とする。	
授業時間外 に必要な 学修内容	TOEIC® 目標スコア達成のために必要な語彙学習を家庭で必ず行うこと。	
履修に 当たっての 留意点	積極的な発言をすることにより、実社会でのコミュニケーション能力をつけることを意識すること。	

科目名	児童英語教育法 (前期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修 ・選択
担当教官	長野よしみ(実務経験:(株)スマイルイングリッシュクラブ等で30年間教務に携わる)
学科・学年	英語科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語学科で学ぶ学生を対象として、過去に学んだ知識ではなく世界で通用する人になるため、英語力・自分の頭で考え、自分の関心に基づいて学び続ける力(知力)、他者の学びに貢献する力をつける。さらに児童に対しどのような考えで英語教育を行うか、具体的な指導法と合わせて学び、習得する。 また日本の児童に人気のある英語の歌を取り入れ将来親になったときに役立つ歌の背景も学べるように配慮していく。児童英語教育に携わっている経験をもとに、季節の英語イベントなどを授業に取り入れその文化も一緒に教える。(演習)
学修内容 (授業計画) 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語力が伸びること伸びない子の違い / Tomorrow 2. 英語を自分で学ぶ子どもに / Ob-La-Di, Ob-La-Da 3. 英語を自分で学ぶ子どもに / Do Re Mi 4. 英語の頭を授ける / The Lion Sleeps Tonight 5. 英語の頭を授ける / Humpty Dumpty 6. 英語で終わらせない / Edelweiss 7. 英語で終わらせない / Over The Rainbow 8. 幼稚な英語は損 / Puff, the Magic Dragon 9. 本物の英語力 / Twinkle, Twinkle, Little Star 10. 学習方法は時期によって変わる / My Favorite Things 11. 通常の英語学習で頭のいい子は育つ / Singin' in the Rain 12. 子どもは親の学ぶ姿勢を見ている / Take Me Home, Country Roads 13. 英語が好きな子を育てる環境づくり / Grandfather's Clock 14. 絵本紹介 15. Presentation 発表
使用テキスト ・教材等	ほんとうに頭がよくなる世界最高の子ども英語、頭のいい子が育つ英語の歌 45 選
成績評価方法 及び 基準	8割以上の出席と、口頭試験の評価を80点、平常点20点の合計100点満点のうち60点以上の、いずれも満たした場合を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	教材のCDを聞いて歌を歌えるように覚えてくる。
履修に 当たっての 留意点	将来教える側に立つことを意識して質疑応答に積極的に質問すること。

科目名	児童英語教育法 (後期 30 時間 (90 分/コマ)) 必修・選択
担当教官	長野よしみ (実務経験 : (株)スマイルイングリッシュクラブ等で 30 年間教務に携わる)
学科・学年	英語科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	英語学科で学ぶ学生を対象として、過去に学んだ知識ではなく世界で通用する人になるため、英語力・自分の頭で考え、自分の関心に基づいて学び続ける力 (知力)、他者の学びに貢献する力をつける。さらに児童に対しどのような考えで英語教育を行うか、具体的な指導法と合わせて学び、習得する。 また日本の児童に人気のある英語の歌を取り入れ将来親になったときに役立つ歌の背景も学べるように配慮していく。児童英語教育に携わっている経験をもとに、季節の英語イベントなどを授業に取り入れその文化も一緒に教える。(演習)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 遊んで好きになる① (身体ごと・声かけ) / Little Peter Rabbit 他 2. 遊んで好きになる② (親の声・ゲーム) / Today Is Monday 他 3. 英語が気になる耳になる① / Under the Spreading Chestnut Tree 他 4. 英語が気になる耳になる② / Mary Had a Little Lamb 他 5. 英語にも文字がある① / Yankee Doodle 他 6. 英語にも文字がある② / The Bear 他 7. Halloween について / Hokey Pokey 他 8. 英語に自信を持つ最高の生活習慣 / Everyone Is Special 他 9. 音と文字を結ぶ / The Alphabet 他 10. コンテンツを楽しむ / How Do You Do? 他 11. ルールを理解する / Good Morning to You 他 12. 英語で考える力を身につける / Sunday, Monday, Tuesday 他 13. 前文法をマスターする / Ten Little Indians 他 14. 知性と教養を磨く / If You're Happy and You Know It 他 15. Presentation 発表
使用テキスト ・教材等	ほんとうに頭がよくなる世界最高の子ども英語、頭のいい子が育つ英語の歌 45 選
成績評価方法 及び 基準	8 割以上の出席と、口頭試験の評価を 80 点、平常点 20 点の合計 100 点満点のうち 60 点以上の、いずれも満たした場合を合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	教材の CD を聞いて歌を歌えるように覚えてくる。
履修に 当たっての 留意点	将来教える側に立つことを意識して質疑応答に積極的に質問すること。